第三期 大館市読書活動推進計画

（平成３０年度～平成３４年度）

平成３０年３月

大館市教育委員会

目　　次

第Ⅰ章　計画の策定にあたって

1　計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　国・県の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

3　計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

4　計画の対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第Ⅱ章　第二期大館市読書活動推進計画の取り組み

1　読書啓発活動と情報提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2　読書環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

3　読書活動推進体制の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

4　数値目標の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

第Ⅲ章　計画の基本理念と目標

1　計画の基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

2　計画の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

第Ⅳ章　読書活動推進のための取り組み

1　読書啓発活動と情報提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

2　読書環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

3　読書活動推進体制の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

4　読書活動推進計画の数値目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

資　料

1　平成２９年度「県民意識調査」報告書より（抜粋）・・・・・・・・・・・14

2　平成２８年度図書館利用者満足度調査より（抜粋）・・・・・・・・・・・25

3　小・中学校の読書活動についてのアンケート調査・・・・・・・・・・・・28

4　放課後児童クラブの読書活動についてのアンケート調査・・・・・・・・・29

5　読書活動推進計画の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

第Ⅰ章　計画の策定にあたって

１　計画策定の趣旨

読書は、人間の生涯にわたる学習活動の基盤であり、読書を通して子どもは言葉を学ぶとともに広い世界を知り、大人にとっては多様化する社会を生きていく指針を見出すものとなっています。

大館市では、平成１７年に子どもから大人まで包括する「第一期大館市読書活動推進計画」を、平成２５年には「第二期大館市読書活動推進計画」を策定し、さまざまな施策に取り組んできました。

市民の読書活動を推進するためには、学校、家庭、地域、行政等が一体となって取り組む必要があることから、これまでの取り組みの成果や課題を検証するとともに、読書活動を取り巻く社会状況等の変化を踏まえ、さらなる読書活動推進のため「第三期大館市読書活動推進計画」を策定するものです。

２　国・県の動向

国においては、平成２５年５月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次基本計画）」を策定し、「家庭、地域、学校を通じた社会全体における取組」「子どもの読書活動を支える環境の整備」「子どもの読書活動に関する意義の普及」を基本的方針とし、必要な事項や方策を示しました。

また、秋田県においても、「家庭」「学校」「職場」「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開するとともに、市町村、企業、民間団体と連携し、県民総ぐるみの読書活動を一層盛り上げるため、「第２次秋田県読書活動推進基本計画」を平成２８年３月に策定し、さまざまな取り組みを行うこととしています。

３　計画の期間

平成３０年度から平成３４年度までの５年間とします。

４　計画の対象範囲

すべての市民を計画の対象とします。

第Ⅱ章　第二期大館市読書活動推進計画の取り組み

１　読書啓発活動と情報提供

【これまでの取り組みと成果】

⑴　読書関連行事や展示の企画と図書リストの作成

栗盛記念・花矢・比内の３館で定期的におはなし会を実施。栗盛記念図書館では平成２７年度に内容の見直しを行い、「おひざにだっこのおはなし会」とイベント名を付け、広報紙や地元紙、ブックスタート※1実施会場等でピーアールした。その結果、参加人数の増加につながった。また、毎年、夏・冬・春休み期間中に未就学児施設や放課後児童クラブの子どもたちを招待して、特別おはなし会を開催。夏休み期間中には、市内各高校とも連携し、高校生も読み聞かせボランティアとして参加した。

栗盛記念図書館では、ビブリオバトル※2を平成２５年１０月１２日に県内公立図書館で初めて開催。参加した高校生が学校でもビブリオバトルを実施するきっかけとなった。また、県教育委員会主催「ビブリオバトル中学生高校生大会（大館大会）」の開催にも協力した。

また、各図書館において関連図書の展示や学校と連携したおはなし会などを行い、栗盛記念図書館では、平成２８年度から子どもの読書週間の行事として「ぬいぐるみのおとまり会」を開催している。なお、各図書館では、毎月テーマ展示を行っていて、平成２７年度からは栗盛記念・花矢・比内・田代の４館合同のテーマ展示も実施している。

平成２９年度は、県教育委員会主催「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」を活用した「超大型絵本がやってくる!!」と栗盛記念図書館自主事業の講演会を実施したほか、図書館後援会と共催で、毎年、文化講演会を実施している。また、小中学生、高校生、市民が参加した大館ふるさとカルタの作製、カルタ取り大会の開催を通じて市民の読書活動、市民版ふるさとキャリア教育を推進した。

※1　ブックスタート
　１９９２年にイギリスで始まった赤ちゃんに絵本をプレゼントする活動。絵本を媒体として親子が触れ合い、楽しいひとときを過ごす大切さを伝える活動。

※2　ビブリオバトル
　ビブリオバトラーと呼ぶ発表者たちが、おもしろいと思う本の魅力を紹介しあい、読みたいと思った聴衆の投票数で勝敗を決める催し。

◇定例読み聞かせ会開催回数・参加人数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
栗盛記念	19回　84人	21回 105人	12回 200人	12回 284人
花　　矢	12回 253人	10回 258人	10回 189人	10回 262人
比　　内	26回 671人	16回 539人	20回 487人	12回 301人

◇栗盛記念図書館長期休み期間の特別おはなし会参加人数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
夏 休 み	182人	105人	76人	107人
冬 休 み	167人	170人	130人	—
春 休 み	134人	153人	81人	—

⑵　大館市ホームページや広報おおだて、地元紙を活用した広報

毎月、広報おおだてへ新着図書・各種イベント情報を掲載し、「おおだて子育てねっと」のホームページには図書館のイベントページや「子育てに役立つ図書」のリンクを貼り付けている。また、イベント開催時には、必ず大館市記者クラブへ情報をリリースし、子育て情報誌へもおはなし会などの情報の掲載を依頼している。

【今後の課題・取り組みの方向】

引き続き、読書啓発となる各種読書関連行事と情報発信を続けていくとともに、定期的なおはなし会の機会と親子向け読書イベントの機会を増やし、県教育委員会主催の「ビブリオバトル中学生高校生大会」へ中学生の参加も増えるよう取り組んでいく。

２　読書環境の整備

【これまでの取り組みと成果】

⑴　家庭・地域での読書活動

市健康課と連携し、５か月児すこやか教室の際にブックスタート事業を実施。平成２８年度からは図書館でも絵本を手渡せるようにした。ブックスタート、フレッシュパパママ教室※3ともに読み聞かせボランティア団体の協力で実施している。

図書館内に「家族で読書」のコーナーを設置。また、「絵本だより」を作成し、市内の未就学児施設への掲示を行っているほか、学校や児童館、未就学児施設に対し出張おはなし会を実施。「絵本だより」「図書館だより プラス・ワン」「花矢図書館だより」を発行し公民館や児童館等へ配置するとともに、移動図書館車おおとり号により団体貸出を実施している。

※３　フレッシュパパママ教室

初めてお母さん、お父さんになるかたに安心して子育てができるよう支援するとともに参加者同士の交流を目的とした教室。

⑵　就学前施設や学校での読書活動

就学前施設では、読み聞かせボランティアによる出張おはなし会を実施。また、職場体験の生徒によるおはなし会を城南保育園で実施した。

学校については、栗盛記念図書館の学校支援・学校連携担当職員が要望のあった学校を訪問し、図書室整備についての提言や図書補修の講習会などを行い、図書館では高校生におはなし会を実施した。また、各学校に対して、授業で使用する図書の貸出を行うとともに、ＰＴＡ図書部の保護者の図書補修講習会に図書館職員を講師として派遣した。

⑶　図書館での読書活動

図書館では、情報提供として「おおだて子育てねっと」と図書館ホームページに相互リンクを貼り、「子育てに役立つ図書」の一覧を掲載。図書館ホームページのほか、ツイッターやブログも活用し、新着図書のお知らせや読書関連行事のお知らせを行っている。

また、読書にかかわる行事として、栗盛記念・花矢・田代の３館で、読書感想文や読書感想画のコンクール、展示会を開催した。

環境整備としては、図書館ホームページから蔵書検索や資料の予約ができるようにし、予約本が準備できた旨の連絡も希望すればメールで受け取れるようにした。また、施設整備として、平成２８年度、多目的室・ラウンジ、駐車場の拡張に着手。２９年度から供用を開始し、親子が気兼ねなく読書ができる環境をつくるとともに、駐車可能台数も倍増し、市民が気軽に図書館を利用できる環境を整えた。また、多目的室増

築と同時期に図書館敷地内に移築された松下村塾と多目的室を活用し、２９年度には、図書館祭りを開催した。

なお、大館市の歴史と伝統を図書館の名称に残し未来に引き継ぐため、平成２９年４月、中央図書館の名称を「栗盛記念図書館」に変更した。

学校等への協力については、小学生の施設見学（利用体験）や中高生の職場体験の受け入れなどを実施。学校図書館関係者向けに本の補修講習やブックトークの講習会、要望聞き取りのためのアンケート調査も実施し、各学校図書館担当職員との連携は進んでいる。

◇読書感想文コンクール等参加点数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
栗盛記念(感想文コンクール)	38編	57編	56編	43編
栗盛記念(200字感想文)	4枚	56枚	―	―
花矢（感想画展）	39点	47点	39点	35点
田代(感想画コンクール)	283点	279点	263点	266点

【今後の課題・取り組みの方向】

学校図書館支援については、学校図書館協議会との連携を図りながら、さらに連携関係を築いていく。

家庭教育や学校教育分野など図書館外での読書活動推進については、どこまで踏み込んでいけるかを探りながら、親子の読書活動推進イベントなどを実施する。

また、施設整備として、快適で安全・安心な読書環境の整備を進めていく。

３　読書活動推進体制の整備

【これまでの取り組みと成果】

⑴　ボランティアの育成と活動の支援

読み聞かせボランティア育成のため、初心者向け養成講座を開催した。外部の研修会については、ボランティア団体へ周知し参加を呼びかけている。

また、学校等からおはなし会の依頼があった際には市内のボランティア団体へ声をかけ、学校へ紹介、派遣を行うとともに、読み聞かせボランティア団体に対して図書

館の空室を活動の準備の場として提供し、さらには、おはなし会用品の貸出、大型絵本リストの提供なども行っている。

⑵　関係機関やボランティアとの連携

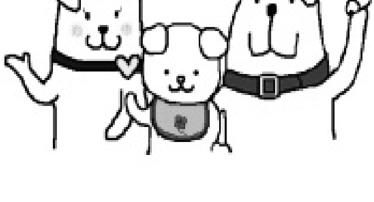
読み聞かせボランティアの活動状況について、北教育事務所等からの読書グループ調査実施時に把握し、活動情報を提供している。

⑶　読書活動推進会議の開催

毎年度、読書活動推進のための事業計画を立て、年度終了後、事業ごとの評価を行い、数値目標等の進捗状況を確認し、図書館協議会でその評価の妥当性について協議していただいている。

【今後の課題・取り組みの方向】

市内のボランティア団体が定期的に集まる場を設け、読み聞かせ経験者向けのスキルアップ講習会を実施するとともに、新規ボランティアの養成も行う。



４　数値目標の進捗状況

項　　目	平成２３年度（実績）	平成２９年度（目標）	平成２８年度（実績）	進捗率（平成28年度）
市立図書館の年間貸出冊数	184,834冊	222,000冊	184,593冊	83%
市立図書館の児童館等・就学前施設への貸出冊数	4,675冊	7,000冊	8,723冊	125%
市立図書館の小・中学校への貸出冊数	1,885冊	2,900冊	2,093冊	72%
市立図書館の年間おはなし会の回数	２８回	４０回	６０回	150%
市立図書館を活用している就学前施設の割合	８０％	９０％	９０％	100%
※ 放課後児童クラブでのおはなし会の企画回数	不定期～年３回	年６回	年７回 （図書館企画分）	117%
放課後児童クラブでの読書時間の確保	15分～１時間	平日30分以上 学校休業日 １時間以上	平日　53分 学校休業日 １時間33分	平日 100% 学校休業日 100%
小・中学校での学校図書館を活用した授業を行った回数		小学校 月1回 中学校 年6回	小学校 14/17校 中学校 3/ 8校	小学校 82% 中学校 38%
学校図書館の蔵書がデータベース化されている学校の割合	小学校 60% 中学校 40%	小学校 70% 中学校 50%	小学校 53% 中学校 63%	小学校 76% 中学校 125%
読書強調週間等、読書を勧める企画を実施している学校の割合	小学校100% 中学校 50%	小学校100% 中学校100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
市立図書館を学習に活用している学校の割合	小学校 60% 中学校 10%	小学校 60% 中学校 30%	小学校 76% 中学校 13%	小学校 109% 中学校 42%

※　放課後児童クラブでの読み聞かせについては、市立図書館企画のほか、各児童クラブ自主企画により年１～４回実施されている。

第Ⅲ章　計画の基本理念と目標

１　計画の基本理念

第二期計画の理念を引き継ぎ、市民一人一人が読書の楽しさと大切さを理解し、生涯にわたり読書に親しみ続けることができるよう、環境整備と施策を展開することを基本理念とします。子どもには本への興味を持ち読書習慣を身につけることができるように、大人には必要な知識を身につけ、より豊かな人生を送ることができるよう、少子高齢化、人口減少等の読書活動を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、読書環境整備と施策を総合的かつ計画的に推進します。

２　計画の目標

計画の目的を達成するため、施策の基本を次の３つとします。

１　読書啓発活動と情報提供

市民が読書への関心を持ち、積極的に読書に向かうことができるよう、読書機会の提供と読書を継続していくための情報提供を行います。

２　読書環境の整備

市民の読書活動を支えるため、就学前施設や学校、家庭や地域、図書館が相互に協力、連携して推進活動を実行します。

３　読書活動推進体制の整備

関係機関や団体、市民やボランティアと広く連携して、読書活動を多面的に支える体制を整えます。

第Ⅳ章　読書活動推進のための取り組み

１　読書啓発活動と情報提供

市民の読書への関心を促すため、読書関連行事や展示の企画など、さまざまな機会を提供するとともに、その情報を広範に発信していきます。

⑴　読書関連行事や展示の企画と図書リストの作成

「読書週間」「子ども読書の日」にちなんだ行事を企画したり、学校の長期休み中におはなし会を開催したり、文化講演会や読書感想文コンクールの開催など、読書にかかわる行事を企画します。また、図書館では、季節や社会の話題をテーマとした図書を展示し、新着図書やおすすめ本など、目的に合わせた図書リストを作成して関係機関に提供します。

主な取り組み

- おはなし会の定期的な開催
- 学校の長期休業中のおはなし会や読書啓発行事の開催
- 「読書週間」や「子ども読書の日」にちなんだ行事の開催
- 図書館での、季節行事や社会の話題に関連する図書の展示
- 図書館や公民館、児童館等での親子読書イベントの開催
- 文化講演会の開催

⑵　図書館ホームページや広報おおだて、地元紙を活用した広報

読書にかかわるさまざまな行事をホームページやツイッター、ブログ、広報おおだて、さらに地元紙や子育て情報誌へ掲載を依頼し、市民へ積極的に情報を提供します。

主な取り組み

- ホームページや広報おおだてへの読書活動関連行事の掲載
- 地元紙への読書活動関連行事の掲載依頼
- 子育て情報誌への読書関連情報掲載

２　読書環境の整備

読書活動推進のため、関係機関それぞれが主体的に読書環境整備の取り組みをしながら、相互に協力、連携して活動を展開していくことができるよう体制を整備していきます。

⑴　家庭・地域での読書活動

子どもの読書習慣の形成に家庭の果たす役割は大きいことから、乳児との遊びの中で本に親しむ方法の提案や、これから親になる人に読書の大切さを理解してもらうための取り組みを続けていきます。また、子どもからお年寄りまで地域の人が気軽に本を手に取ることができるよう、さまざまな場所に本と親しむ場を設け、読書の機会を提供します。

主な取り組み

・ブックスタートの継続実施

・おはなし会の推進と充実

・親子読書の推進と充実

・公民館や児童館等の図書コーナーの充実

⑵　就学前施設や学校での読書活動

就学前施設での出張おはなし会による読み聞かせを実施し、幼児期の豊かな感性を育むとともに、絵本の世界を楽しませ、読書への関心を促します。そして、読書の必要性を保護者に理解してもらうため情報を発信します。また、児童生徒の読書活動推進を目的に、学校図書館の整備・活動を支援し、授業で使用する図書の提供や出張おはなし会、高校生と連携したおはなし会などを実施します。

主な取り組み

・読書習慣の確立と読書活動の充実

・読書環境の整備

・おはなし会の継続と充実

・学校と関係機関との連携

⑶　図書館での読書活動

多様化する市民の読書活動に資するため、図書資料の充実と提供を積極的に行うとともに、本に親しむ機会を企画・開催します。また、就学前施設や学校の読書活動への協力、地域の住民や児童館等の読書活動を支えるため移動図書館車の巡回サービスを行います。

主な取り組み

・積極的な情報提供

・読書にかかわる行事の開催

・快適で安全・安心な読書環境の整備

・学校等への協力

・移動図書館車巡回サービスの向上

３　読書活動推進体制の整備

読書活動推進のため、関係機関と連携を深めるとともに、読み聞かせサポーターや図書館ボランティア、地域住民による学校ボランティアなどの活動が円滑に行われるようボランティアの養成や支援に取り組みます。

⑴　ボランティアの育成と活動の支援

読書活動を多面的に支えるボランティアを育成し、その活動を支援します。

主な取り組み

・読み聞かせ研修会等への参加促進と実践の場の提供

・地域や学校へのボランティア参加の呼びかけ

・ボランティア活動団体・個人への支援

⑵　関係機関やボランティアとの連携

すべての関係機関と市民ボランティアが相互に情報を交換し、より効果的に読書活動推進が行われるよう体制を整えていきます。

主な取り組み

・読み聞かせボランティアや地域ボランティアの活動状況の把握

・各ボランティアの活動情報の提供

・関係機関による読書活動推進についての情報交換

４　読書活動推進計画の数値目標

項　　　目	平成２８年度 （実績）	平成３４年度 （目標）
市立図書館の年間貸出冊数 ※ H29.3月末 市人口 74,095人	184,593冊 （市民１人当たり2.49冊）	※ 市民１人当たり 2.7冊
市立図書館の児童館等・就学前施設への貸出冊数	8,723冊	9,500冊
市立図書館の小・中学校への貸出冊数	2,093冊	2,300冊
市立図書館の年間おはなし会の回数	60回	60回
市立図書館を活用している就学前施設の割合	90％	100％
放課後児童クラブでのおはなし会の企画回数	年７回	年８回
放課後児童クラブでの読書時間の確保	平日　53分 学校休業日 １時間33分	平日　30分 学校休業日 １時間30分
小・中学校での学校図書館を活用した授業を行った回数	小学校月1回以上 14/17校 中学校月1回以上 3/ 8校	小学校　月1回以上 全校 中学校　月1回以上 全校
学校図書館の蔵書がデータベース化されている学校の割合	小学校 53％ 中学校 63％	小学校 70％ 中学校 70％
読書強調週間等、読書を勧める企画を実施している学校の割合	小学校 100％ 中学校 100％	小学校 100％ 中学校 100％
市立図書館を学習に活用している学校の割合	小学校 76％ 中学校 13％	小学校 90％ 中学校 50％

※　人口減少を踏まえ、総貸出冊数から市民１人当たり貸出冊数に変更。

資 料　1
平成２９年度「県民意識調査」報告書より（抜粋）

4　読書活動について

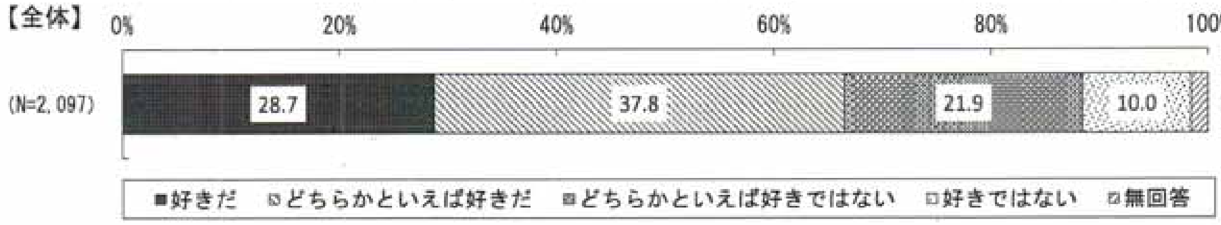
（1）読書への興味（問４－48）

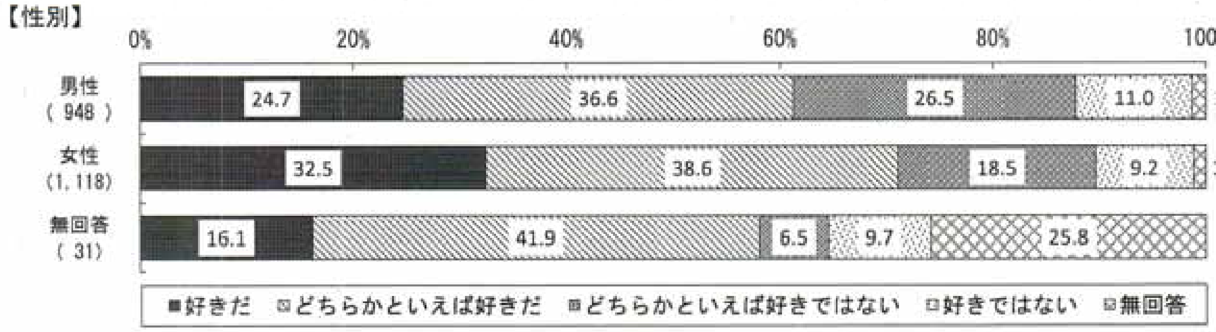
全体では、「好きだ」は 28.7%で、「どちらかといえば好きだ」の 37.8%と合わせると、好きと感じている人の割合は、66.5%となり、「どちらかといえば好きではない」と「好きではない」を合わせた割合 31.9%の２倍を上回る。

性別では、「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた割合は、女性が男性より高い。

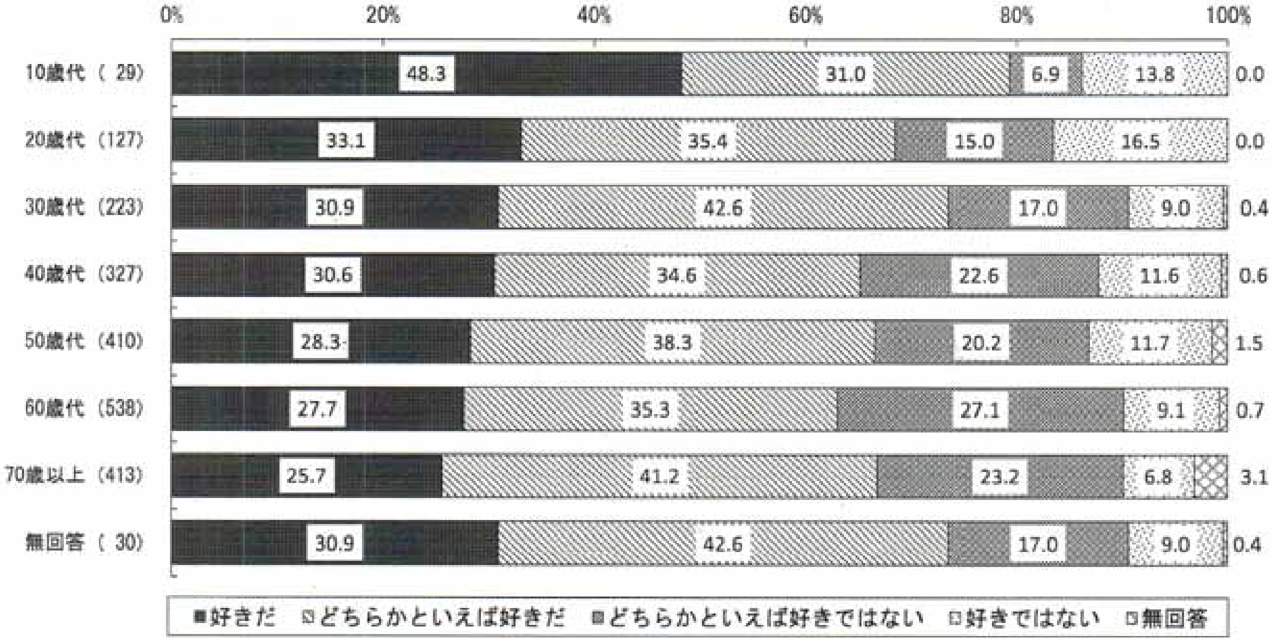
年代別では、「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた割合は 10 歳代が 79.3%で最も高く、30 歳代が 73.5%でそれに続いている。最も低いのは 60 歳代で、63.0%となっている。

地域別では、「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた割合が最も高いのは、秋田地域の 69.1%で、平鹿地域の 68.5%がそれに続いている。一方、最も低いのは雄勝地域で、59.6%と６割を下回っている。

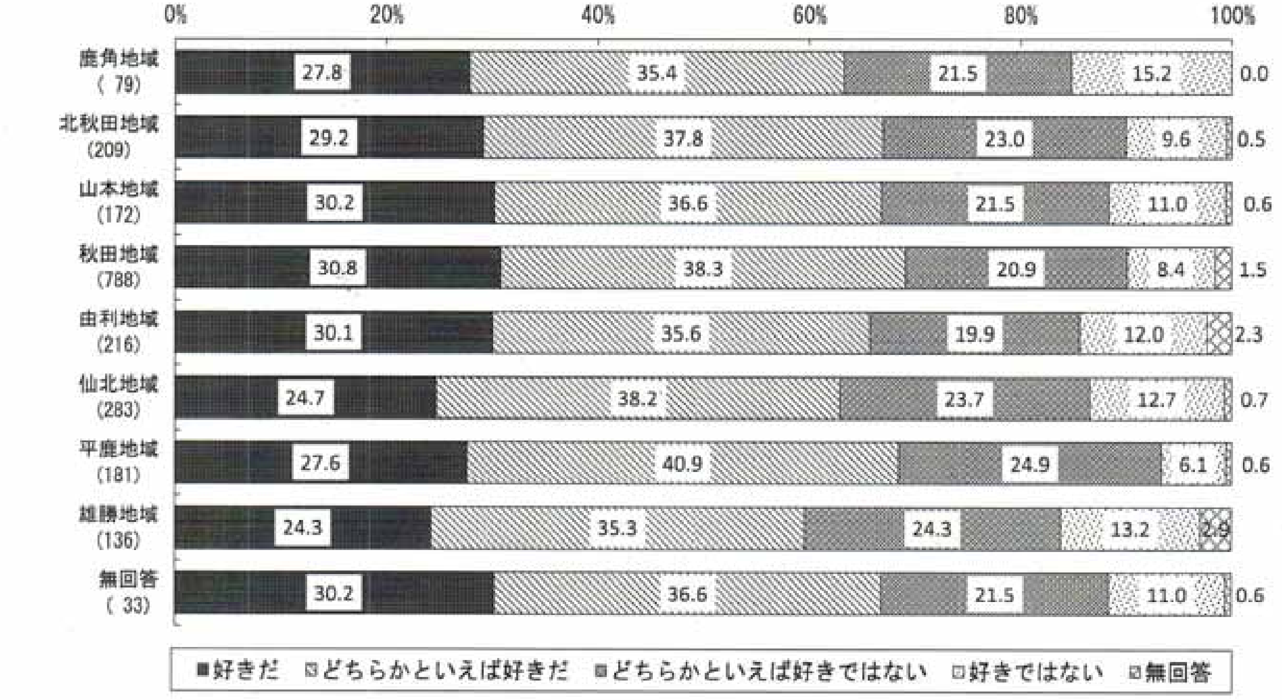




【年代別】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
10歳代（ 29） 48.3 31.0 6.9 13.8 0.0
20歳代（127） 33.1 35.4 15.0 16.5 0.0
30歳代（223） 30.9 42.6 17.0 9.0 0.4
40歳代（327） 30.6 34.6 22.6 11.6 0.6
50歳代（410） 28.3 38.3 20.2 11.7 1.5
60歳代（538） 27.7 35.3 27.1 9.1 0.7
70歳以上（413） 25.7 41.2 23.2 6.8 3.1
無回答（ 30） 30.9 42.6 17.0 9.0 0.4
■好きだ
どちらかといえば好きだ
どちらかといえば好きではない
好きではない
無回答

【地域別】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
鹿角地域（ 79） 27.8 35.4 21.5 15.2 0.0
北秋田地域（209） 29.2 37.8 23.0 9.6 0.5
山本地域（172） 30.2 36.6 21.5 11.0 0.6
秋田地域（788） 30.8 38.3 20.9 8.4 1.5
由利地域（216） 30.1 35.6 19.9 12.0 2.3
仙北地域（283） 24.7 38.2 23.7 12.7 0.7
平鹿地域（181） 27.6 40.9 24.9 6.1 0.6
雄勝地域（136） 24.3 35.3 24.3 13.2 2.9
無回答（ 33） 30.2 36.6 21.5 11.0 0.6
■好きだ
どちらかといえば好きだ
どちらかといえば好きではない
好きではない
無回答

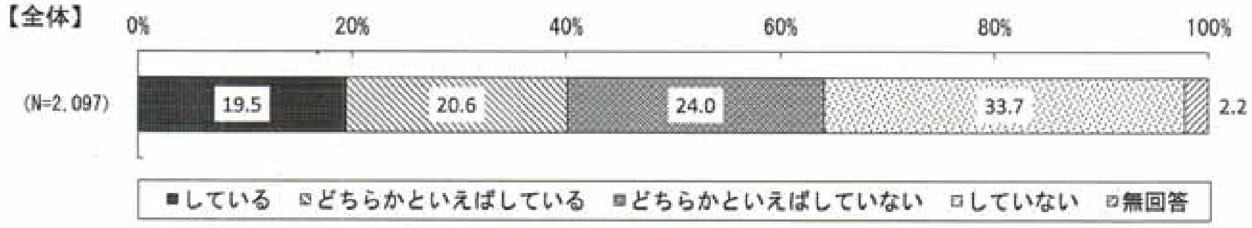
（２）１日30分以上（または１週間で３時間程度）の読書時間確保の有無（問４－49）

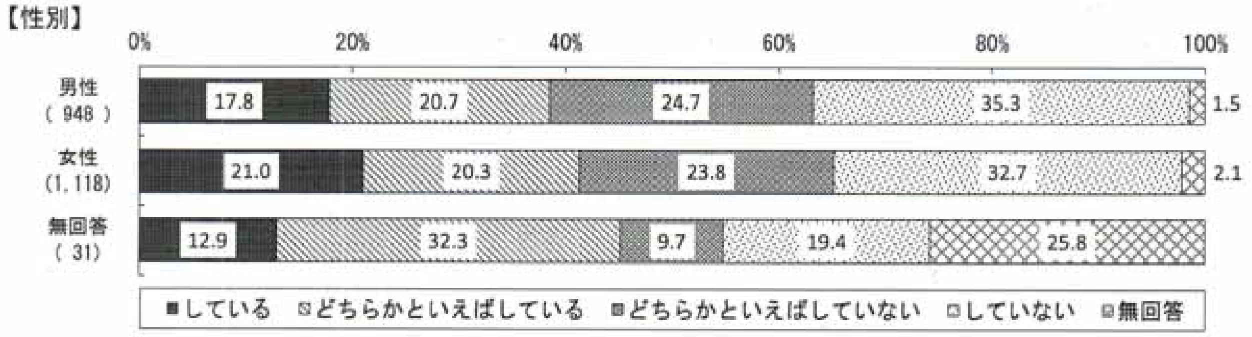
全体では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は 40.1%で、「どちらかといえばしていない」と「していない」を合わせた割合 57.7%よりも低い。

性別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、女性が男性より高い。

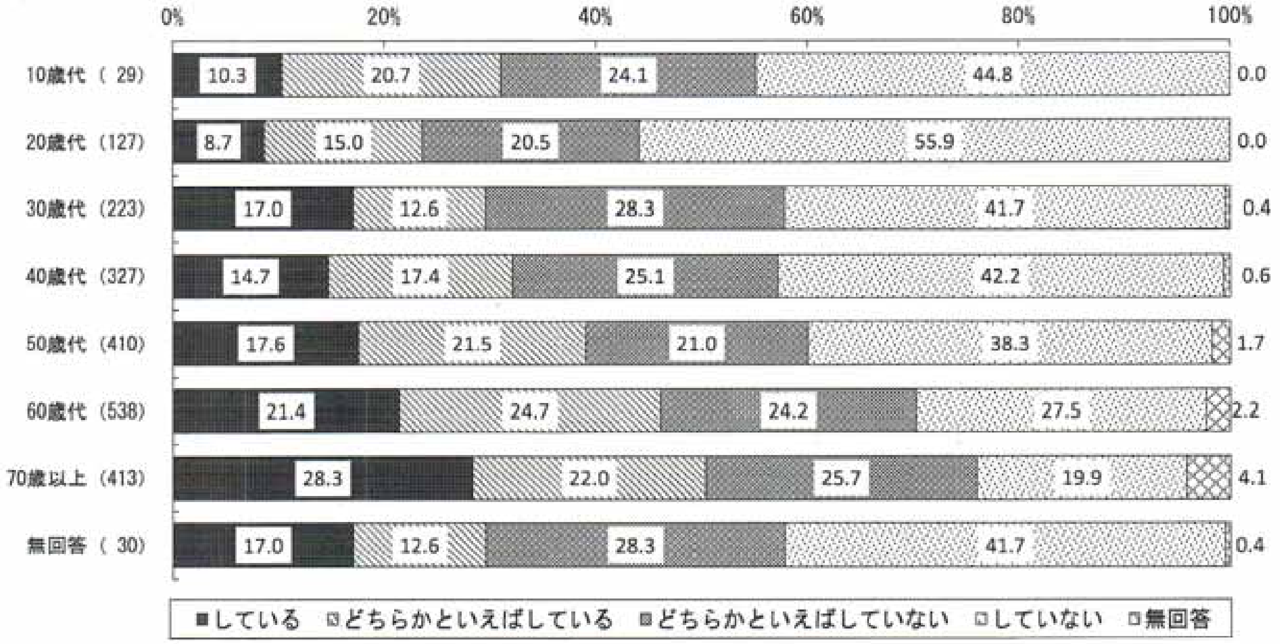
年代別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は 70 歳以上が 50.3%で最も高い一方、20 歳代が 23.7%で最も低く、20 歳代以上の年代では年代が下がるほど低くなっている。

地域別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、山本地域と由利地域で 45.3%と最も高くなっており、雄勝地域が 43.4%と続き、仙北地域が 33.6%で最も低い。

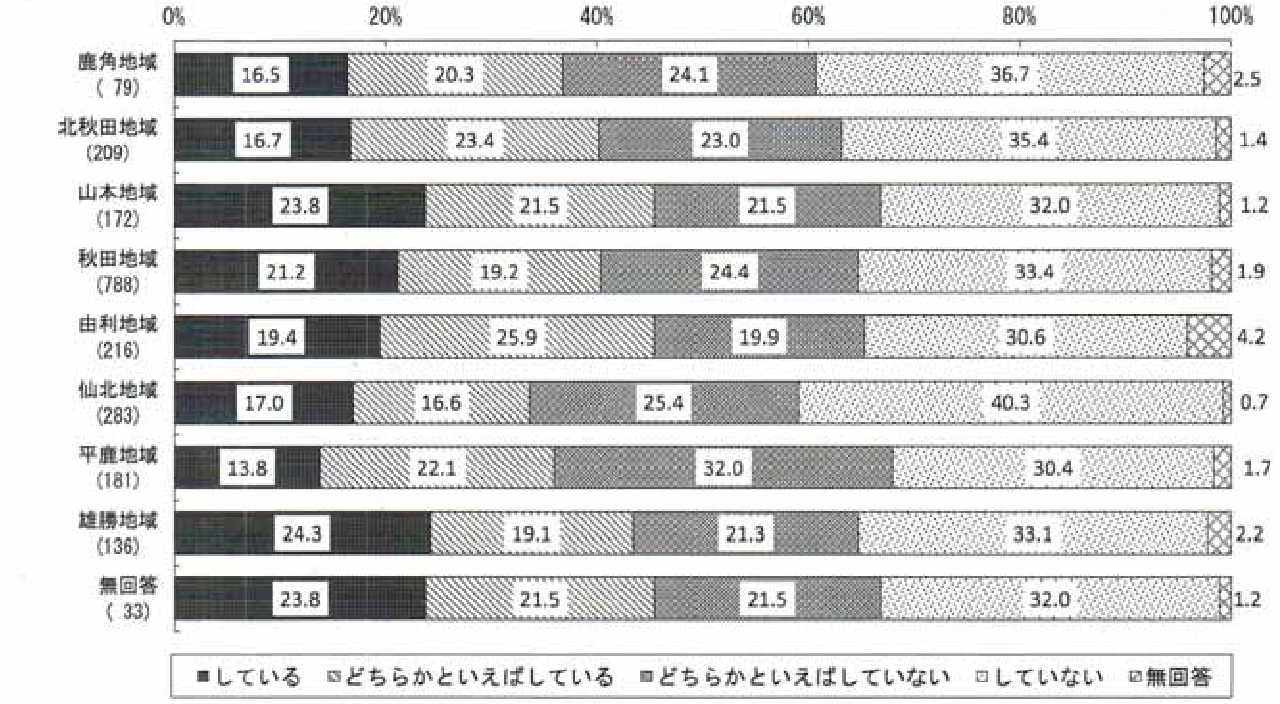




【年代別】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
10歳代（ 29）
10.3
20.7
24.1
44.8
0.0
20歳代（127）
8.7
15.0
20.5
55.9
0.0
30歳代（223）
17.0
12.6
28.3
41.7
0.4
40歳代（327）
14.7
17.4
25.1
42.2
0.6
50歳代（410）
17.6
21.5
21.0
38.3
1.7
60歳代（538）
21.4
24.7
24.2
27.5
2.2
70歳以上（413）
28.3
22.0
25.7
19.9
4.1
無回答（ 30）
17.0
12.6
28.3
41.7
0.4
■している
どちらかといえばしている
どちらかといえばしていない
していない
無回答

【地域別】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
鹿角地域（ 79）
16.5
20.3
24.1
36.7
2.5
北秋田地域（209）
16.7
23.4
23.0
35.4
1.4
山本地域（172）
23.8
21.5
21.5
32.0
1.2
秋田地域（788）
21.2
19.2
24.4
33.4
1.9
由利地域（216）
19.4
25.9
19.9
30.6
4.2
仙北地域（283）
17.0
16.6
25.4
40.3
0.7
平鹿地域（181）
13.8
22.1
32.0
30.4
1.7
雄勝地域（136）
24.3
19.1
21.3
33.1
2.2
無回答（ 33）
23.8
21.5
21.5
32.0
1.2
■している
どちらかといえばしている
どちらかといえばしていない
していない
無回答

（３）読書時間を確保できない理由（○は２つまで）（問４－50）

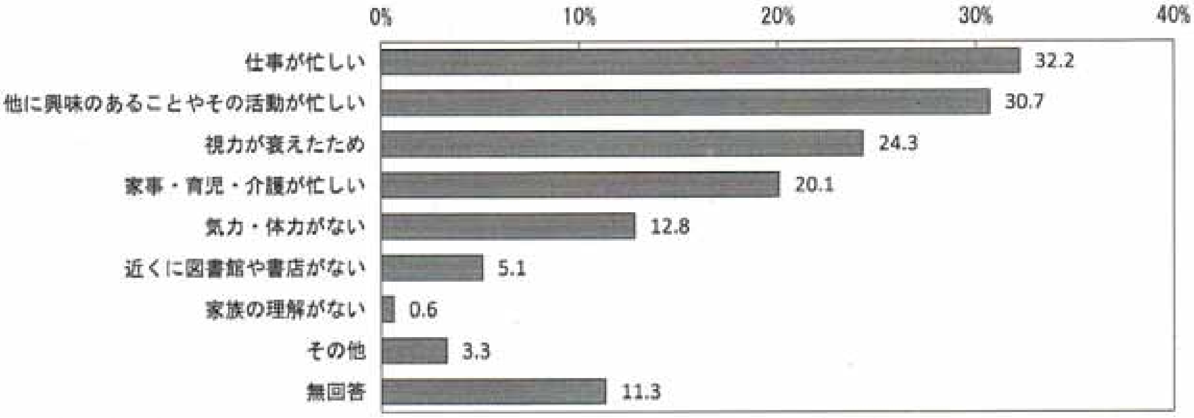
全体では、「仕事が忙しい」が 32.2%で最も多く、「他に興味のあることやその活動が忙しい」が 30.7%とほぼ同割合で続き、「視力が衰えたため」が 24.3%、「家事・育児・介護が忙しい」が 20.1%、「気力・体力がない」が 12.8%、「近くに図書館や書店がない」が 5.1%と続いた。

性別では、女性では「仕事が忙しい」や「家事・育児・介護が忙しい」の割合が高いのに対し、男性では「他に興味があることやその他の活動が忙しい」が「仕事が忙しい」を上回った。

年代別では、20～50 歳代では「仕事が忙しい」が最も大きな理由だが、「他に興味のあることが忙しい」も各年代において大きな割合を占めている。30、40 歳代の「家事・育児・介護が忙しい」の割合は、前年度と同様に高い。

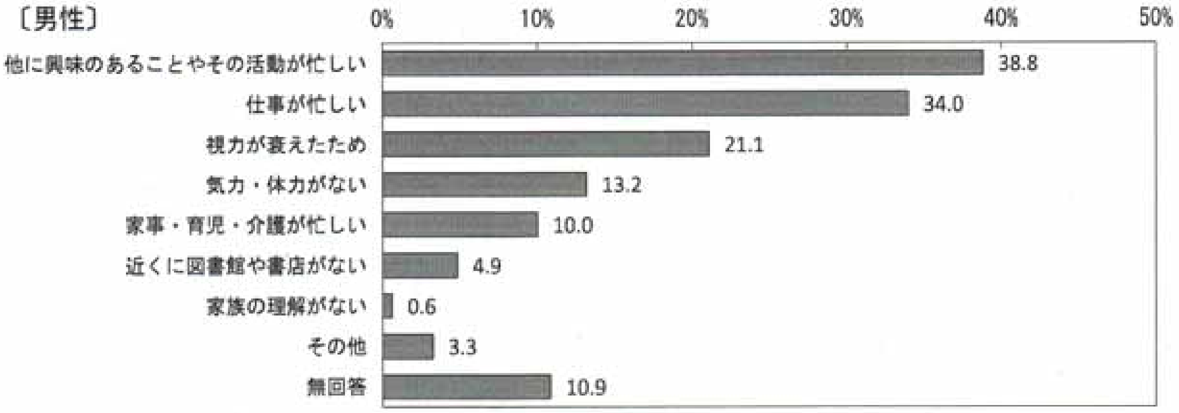
地域別では、北秋田、秋田、仙北、平鹿地域で「仕事が忙しい」が最も大きな理由となっており、鹿角、山本、由利、雄勝地域は「他に興味のあることやその活動が忙しい」が最も大きな理由となっている。

【全体】

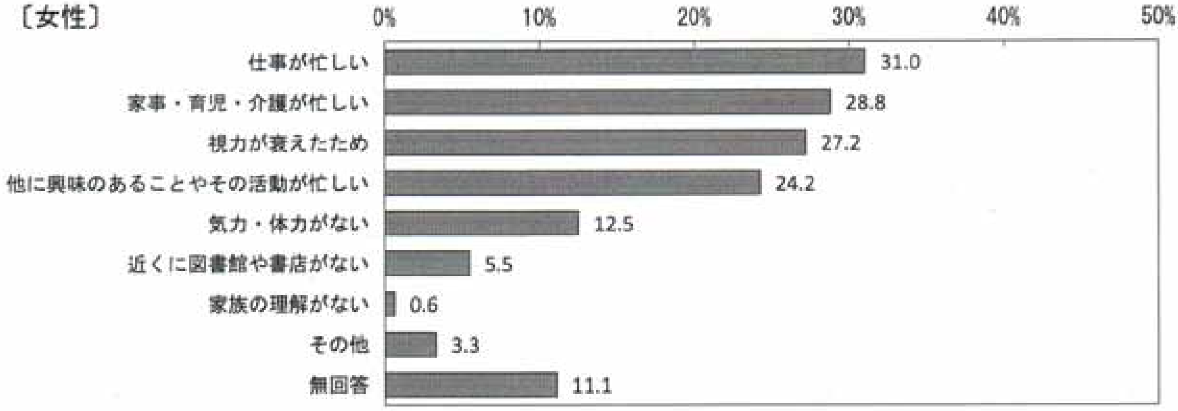


【性別】

〔男性〕

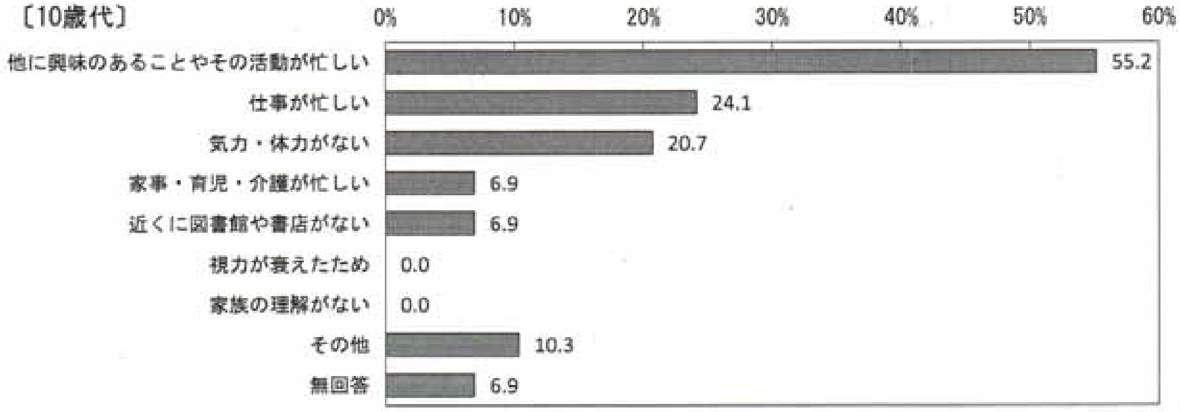


〔女性〕

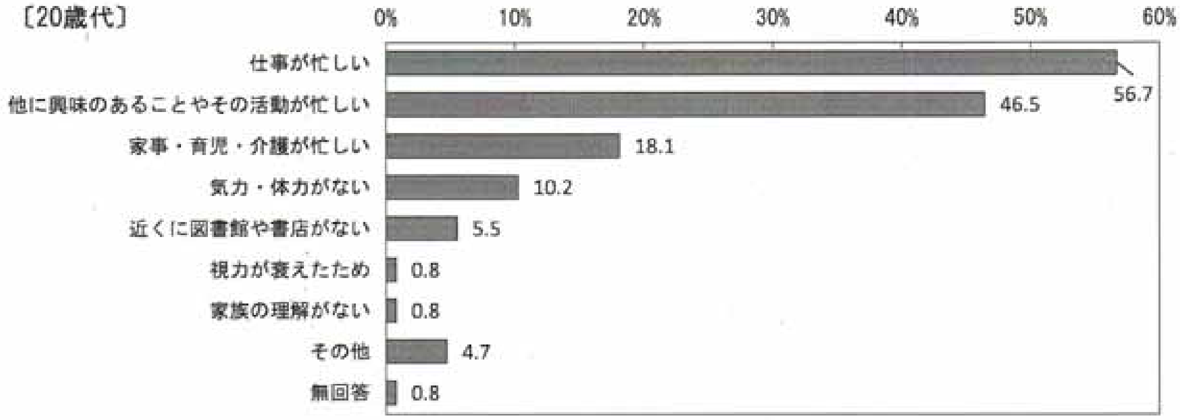


【年代別】

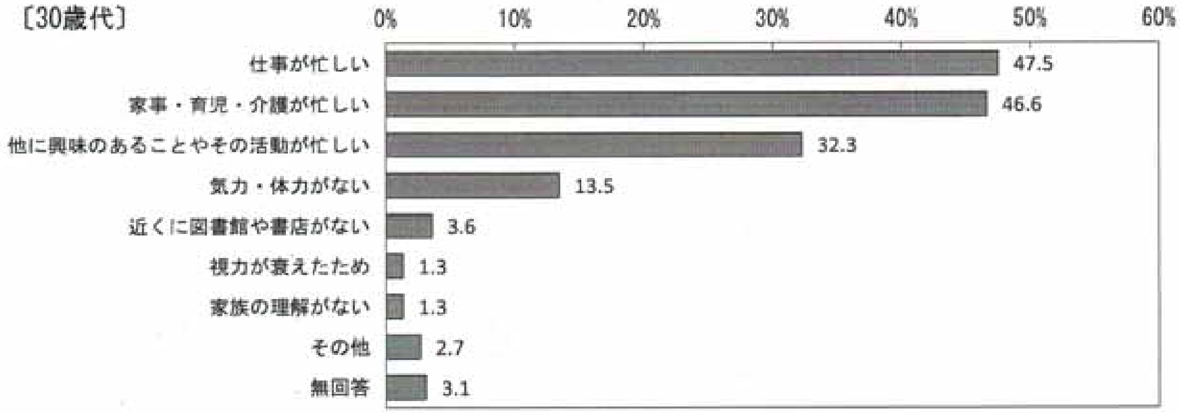
〔10歳代〕



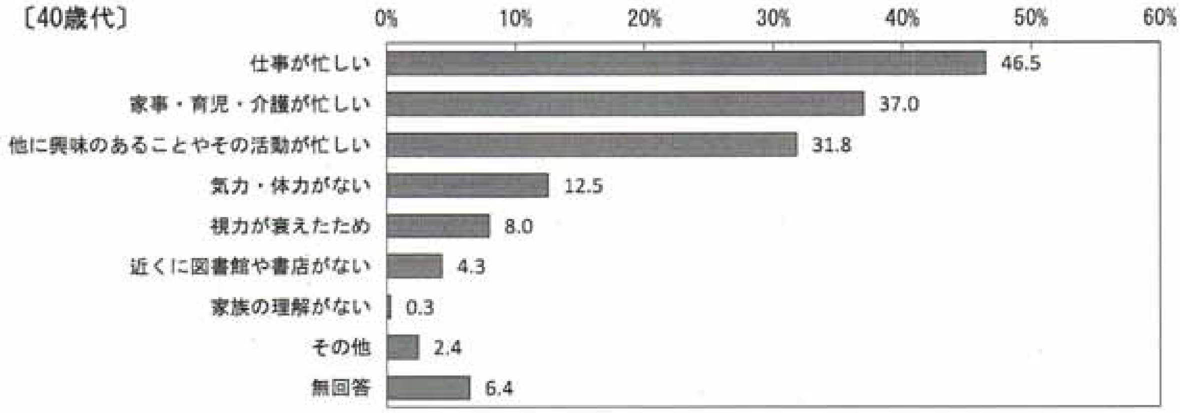
〔20歳代〕



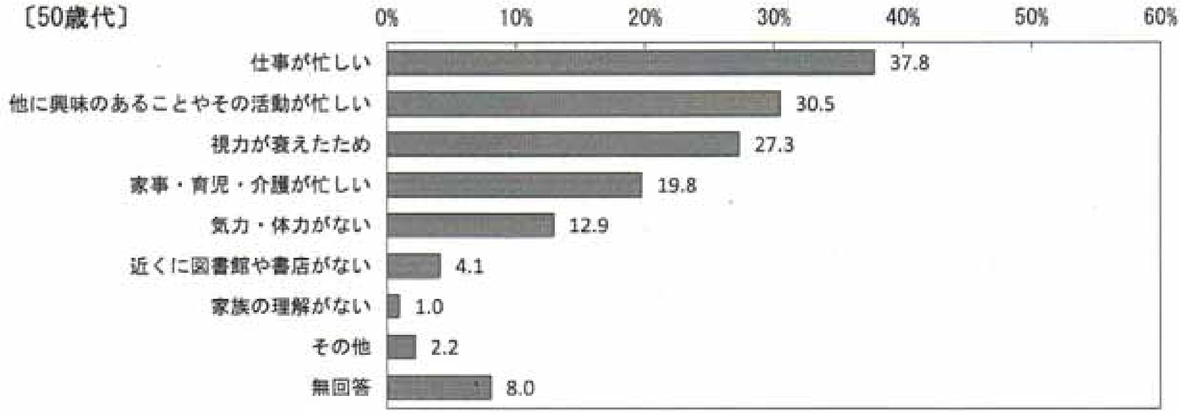
〔30歳代〕



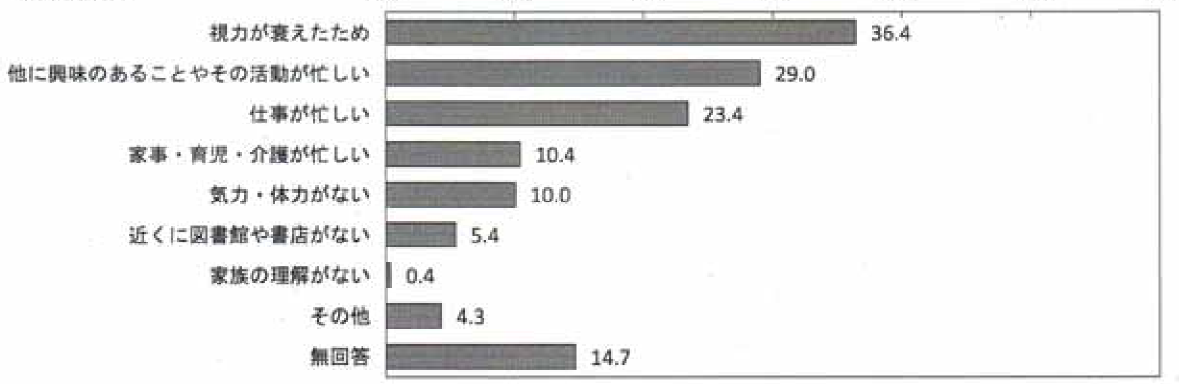
〔40歳代〕



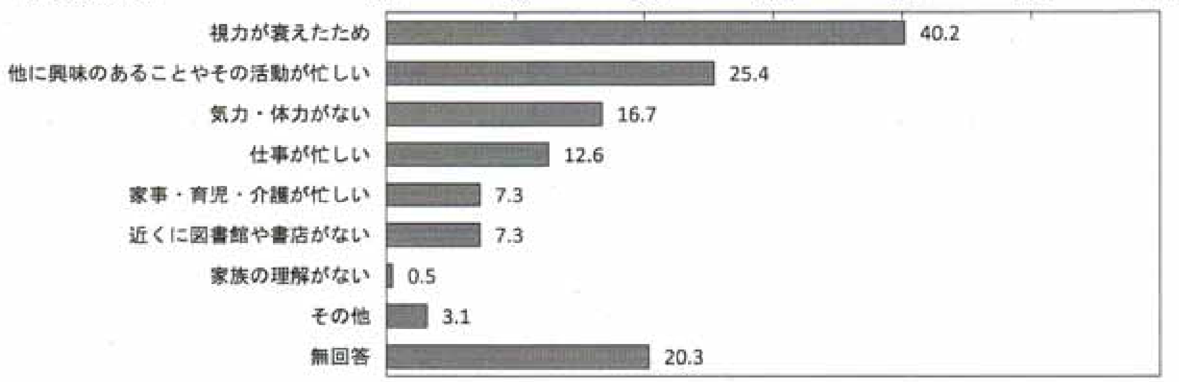
〔50歳代〕



〔60歳代〕

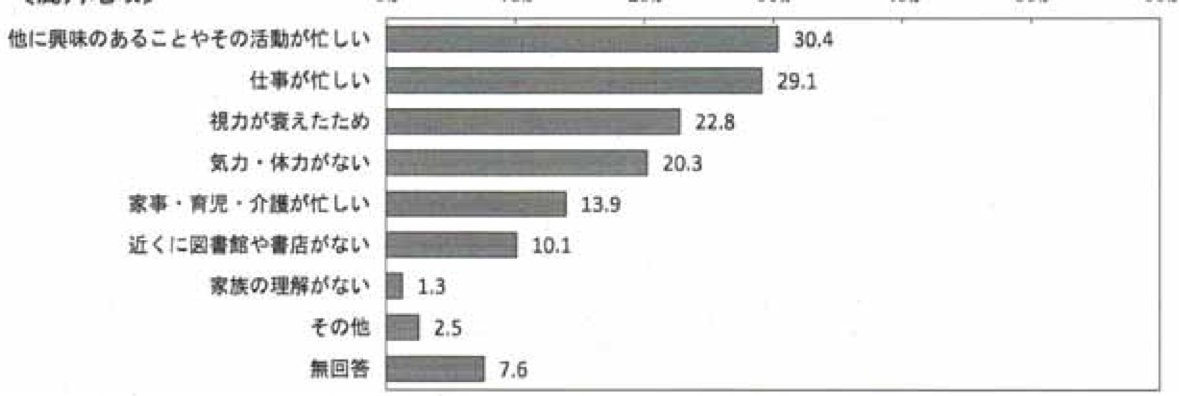


〔70歳以上〕

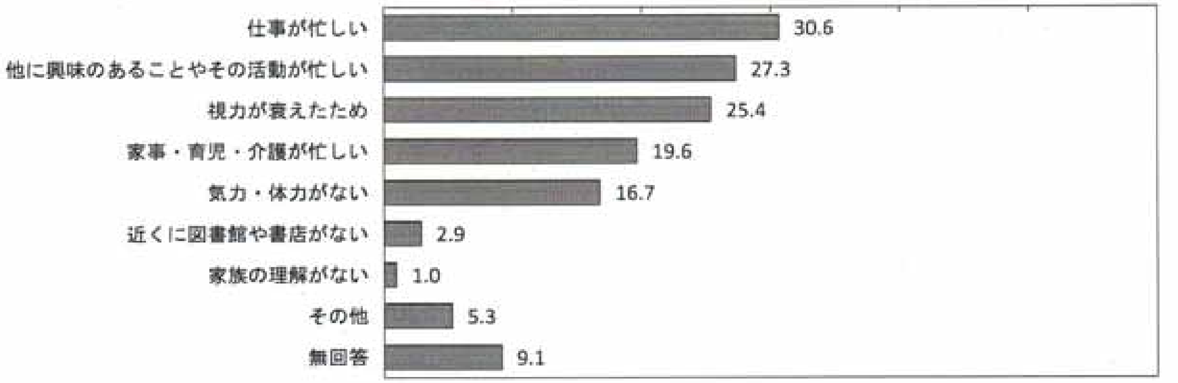


【地域別】

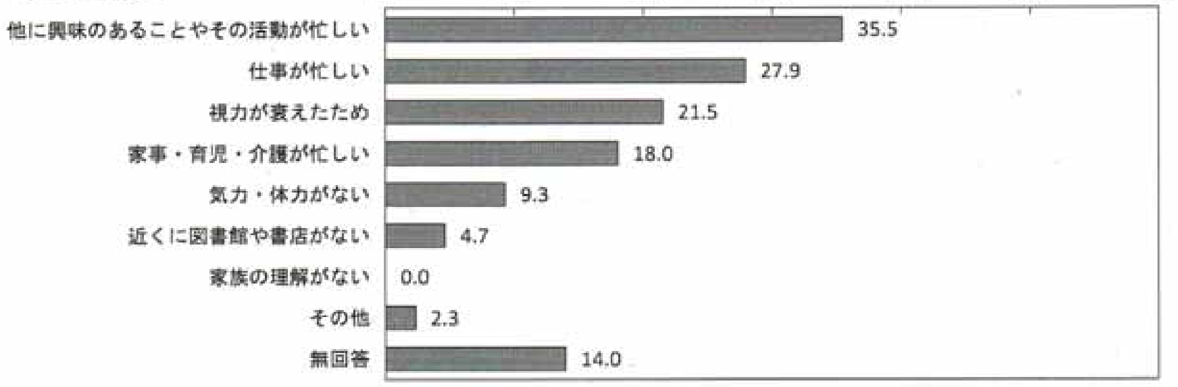
〔鹿角地域〕



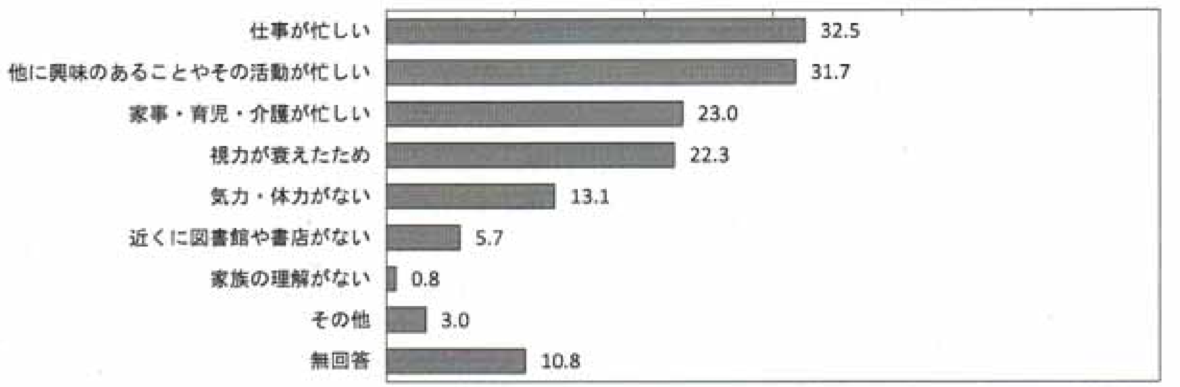
〔北秋田地域〕



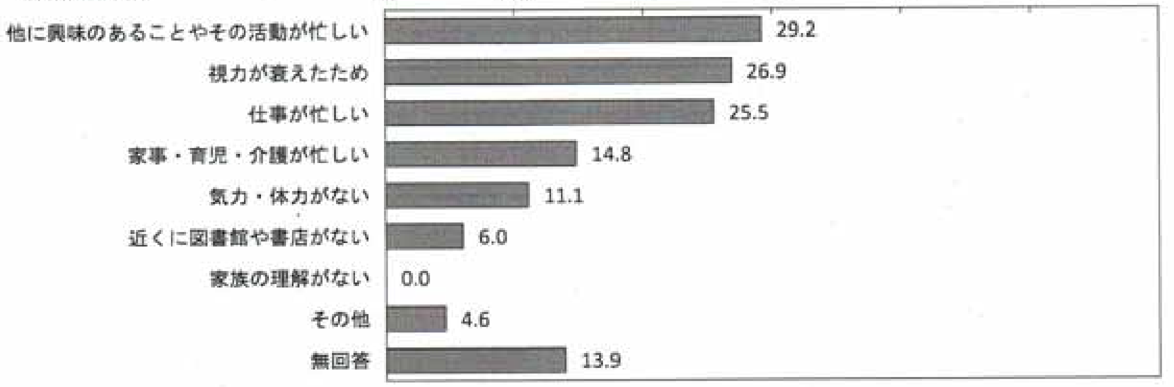
〔山本地域〕



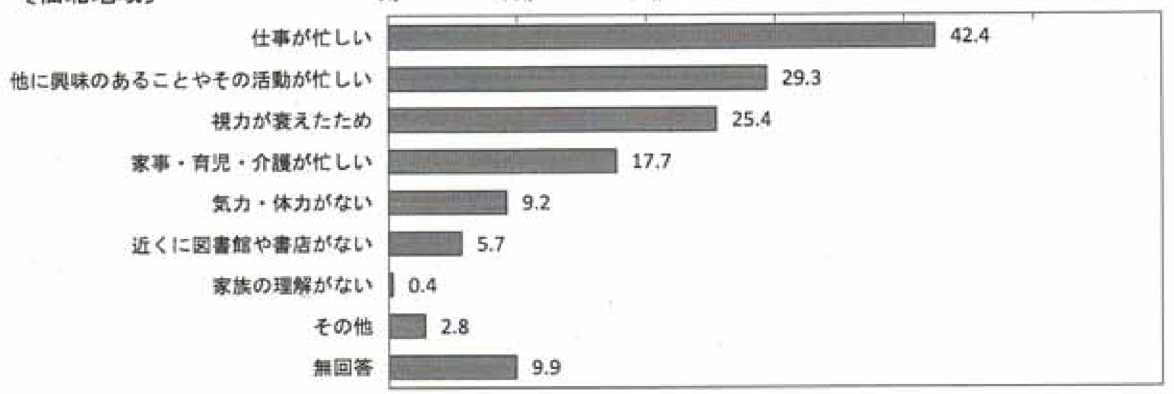
〔秋田地域〕



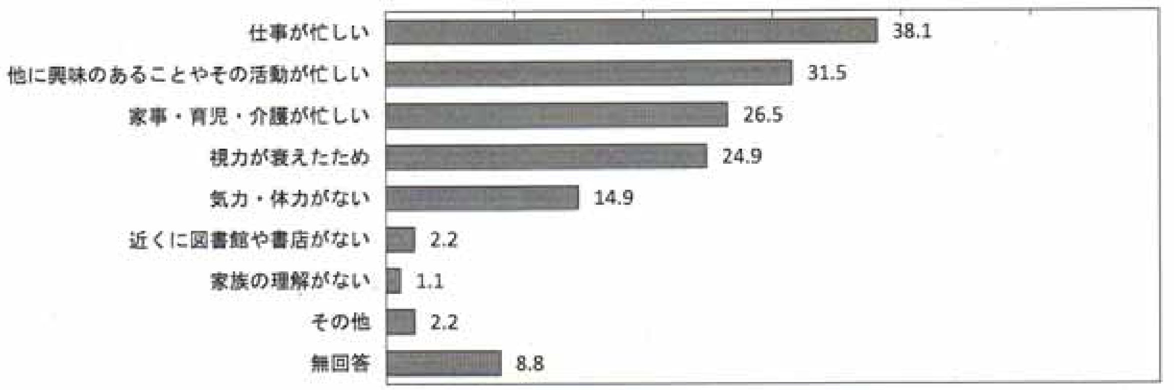
〔由利地域〕



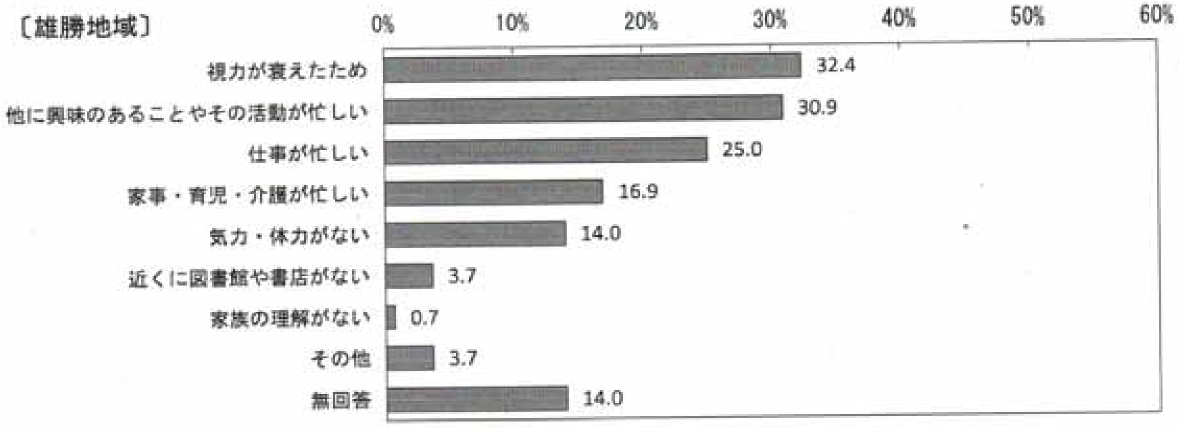
〔仙北地域〕



〔平鹿地域〕



〔雄勝地域〕


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
視力が衰えたため
32.4
他に興味のあることやその活動が忙しい
30.9
仕事が忙しい
25.0
家事・育児・介護が忙しい
16.9
気力・体力がない
14.0
近くに図書館や書店がない
3.7
家族の理解がない
0.7
その他
3.7
無回答
14.0

資 料 2　平成28年度図書館利用者満足度調査より(抜粋)

評価視点	評価項目	評価指標	数値目標	アンケート調査集計
利用者満足度	サービス満足度(栗盛記念図書館)	カウンターでの接遇・質問への応答	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 315(96%)／・やや不満＋たいへん不満 11(4%)
		蔵書の内容	70%以上	・とても満足＋まあ満足 259(79%)／・やや不満＋たいへん不満 66(20%)
		予約やリクエスト・各種催し	80%以上	・とても満足＋まあ満足 289(89%)／ ・やや不満＋たいへん不満 16(5%)
		図書館の設備・備品	65%以上	・とても満足＋まあ満足 267(82%)／ ・やや不満＋たいへん不満 57(18%)
		図書館からの情報発信	80%以上	・とても満足＋まあ満足 265(81%)／ ・やや不満＋たいへん不満 53(16%)
		イベント情報の入手先	—	新聞 193(59%) 広報おおだて 160(49%) ポスターやチラシ 87(27%) 口コミ 59(18%)
		参加したいイベントの内容	—	古本市 91(28%) 工作 90(28%) 図書館見学等 54(17%) 読み聞かせ会 44(13%)
		参加したい講演会・勉強会の内容	—	歴史・地理(市内) 105(32%) 芸術・文化 87(27%) 自然・動植物 84(26%)

	要望・苦情(アンケートより)
要望1	どんな本が閉架になっているか、わかりやすいと良い。読みたい本がけっこう閉架になっている(それは別に構わない)。開架になっていないと、蔵書にないものとあきらめてしまうことも多いのでは？
要望2	いつも本の予約はネットを利用してますが対応が早くて助かります。ただ蔵書の数が少ないのが残念です。本をリクエストしたことはありますが、ダメもとでリクエストしたマイナーな作家のシリーズは入れてもらえたのに、絶対に入れてもらえると思ってた本は却下されたり……いまいち基準が分かりません。今後、もう少し蔵書が増えるといいのですが。
要望3	12月1日に新聞コーナーを見て驚きました。「公明新聞」「赤旗」が置いてあります。多分に市長からの指示があったと推察されますが、これは中止してくださるようお願いします。市民の税金からの支出です。特定の政党の機関紙を公共の図書館に置くべきではありません。政党の新聞はほかにもあります。一部議会議員の圧力にひれふしてはいけません。良識ある、常識の通用する大館市でありますように願っております。市民の税金です。中止してください。
要望4	新聞を拝見している方で、何を見ているのかわかりませんがペラペラめくり続ける方がいるため、音を立てないで見ていただければよいかと思います。専用のコーナーでも作っていただければ他の方にご迷惑をかけることがないと思います。
要望5	少し要望なのですが、終電までの待ち時間に過ごせる場所が寒い駅のホームしかありません。もし可能でしたら、もう少し開館時間を長くしてほしいです。
要望6	休館日を月曜日から日曜日に変更していただきたい。
要望7	カウンター内の女性は1人ないし2人で十分ではないか！　多いときは4人もいる時があるけど、何もしてないで前を見ているのは、本人もつらいだろうし。こちらも良い気分ではない！　人件費のムダ！遅番早番の2人体制で十分だと思う。鹿角の新しい(コモッセ)図書館は1人で対応してたと思う。
要望8	自習室を他公共機関(女性・青年施設、公民館、役所など)にも設置してもらう様協力してもらう。　※自習室は需要があり、席が無い場合多く、本を読む席がない場合、又他の施設ならば夜まで開館してもらえる可能性もある。他県でも実施している。
要望9	障害者用トイレに物をかけるフックがなく持ち物をおく場所がないため不便。ペーパーの設置場所が不適切。一般用トイレの洋式設置はありがたいが狭くて使い勝手が良くない。
要望10	飲食について余り厳しく規制する必要はない！　もっとリラックスできる図書館が理想的だから！

評価視点	評価項目	評価指標	数値目標	アンケート調査集計
利用者満足度	サービス満足度（花矢図書館）	カウンターでの接遇・質問への応答	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 18（100%）／・やや不満＋たいへん不満 0（0%）
		蔵書の内容	70%以上	・とても満足＋まあ満足 14（78%）／ ・やや不満＋たいへん不満 4（22%
		予約やリクエスト・各種催し	80%以上	・とても満足＋まあ満足 18（100%）／ ・やや不満＋たいへん不満 0（0%）
		図書館の設備・備品	65%以上	・とても満足＋まあ満足 18（100%）／ ・やや不満＋たいへん不満 0（0%）
		図書館からの情報発信	80%以上	・とても満足＋まあ満足 16（89%）／ ・やや不満＋たいへん不満 1（6%）
		イベント情報の入手先	—	新聞 14(78%) 広報おおだて 11（61%） ポスターやチラシ 6（33%） 口コミ 3（17%）
		参加したいイベントの内容	—	古本市 6（33%） 工作 2（11%） 読み聞かせ会 1（6%） 図書館見学等 1（6%）
		参加したい講演会・勉強会の内容	—	暮らし・生き方 7（39%） 歴史・地理（市内） 5(28%) 病気・健康 5(28%)
	要望・苦情（アンケートより）			
要望	—			
苦情	—			

評価視点	評価項目	評価指標	数値目標	アンケート調査集計
利用者満足度	サービス満足度（比内図書館）	カウンターでの接遇・質問への応答	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 18（95%）／・やや不満＋たいへん不満 1（5%）
		蔵書の内容	70%以上	・とても満足＋まあ満足 15（79%）／ ・やや不満＋たいへん不満 3（16%）
		予約やリクエスト・各種催し	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 18（95%）／・やや不満＋たいへん不満 1（5%）
		図書館の設備・備品	65%以上	・とても満足 ＋まあ満足 18（95%）／・やや不満＋たいへん不満 1（5%）
		図書館からの情報発信	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 18（95%）／・やや不満＋たいへん不満 1（5%）
		イベント情報の入手先	—	新聞 14(74%) ポスターやチラシ 7（37%） 広報おおだて 5（26%） SNS 3（11%）
		参加したいイベントの内容	—	図書館見学等 6（32%） 読み聞かせ会 4（21%） 古本市 4（21%） 工作 3（16%）
		参加したい講演会・勉強会の内容	—	病気・健康 5(26%) 子育て・教育 4(21%) 歴史・地理（市内） 3（16%）
	要望・苦情（アンケートより）			
要望1	シリーズ物で途中でとまっている物があるので出版されている分までおいてほしい。			
苦情1	新聞が図書館の中にないのが不便です。			

評価視点	評価項目	評価指標	数値目標	アンケート調査集計
利用者満足度	サービス満足度（田代図書館）	カウンターでの接遇・質問への応答	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 13（100%）／・やや不満＋たいへん不満 0（0%）
		蔵書の内容	70%以上	・とても満足＋まあ満足 11（85%）／・やや不満＋たいへん不満 2（15%）
		予約やリクエスト・各種催し	80%以上	・とても満足 ＋まあ満足 13（100%）／・やや不満＋たいへん不満 0（0%）
		図書館の設備・備品	65%以上	・とても満足＋まあ満足 11（85%）／ ・やや不満＋たいへん不満 1（8%）
		図書館からの情報発信	80%以上	・とても満足＋まあ満足 12（92%）／ ・やや不満＋たいへん不満 0（0%）
		イベント情報の入手先	—	広報おおだて 9（69%） 新聞 5(38%) ポスターやチラシ 4（31%） 口コミ 3（23%）
		参加したいイベントの内容	—	古本市 3（23%） 図書館見学等 2（15%） 工作 2（15%） 読み聞かせ会 1（8%）
		参加したい講演会・勉強会の内容	—	病気・健康 3(23%) 暮らし・生き方 3(23%) 芸術・文化 3(23%)
	要望・苦情（アンケートより）			
要望1	引越しの多い我が家は子どもの本を殆ど持たず色々な図書館を利用させて頂いています。外県ではCDやDVDのレンタルもあります。またパソコンも何台かあり、検索や資料作りができました。地域行事の情報もたくさんありました。図書館の利用時間も長く、休館日は図書館ごとに違い、どこかの図書館は空いている状態でした。利用期間も3週間、冊数も多くレンタルでき助かりました。上記のようなことを検討して頂けたら幸いです。			
要望2	本の読書履歴がわかる方法を考えて欲しい。（履歴が分からなかった為、借りてきた本が過去に読んでいたという事があった為）			

資 料 ３　小・中学校の読書活動についてのアンケート調査

小学校１７校　中学校８校

学校図書館を活用した授業を行った回数	
小学校	
①　　０回	３校　※内 学期に１回 １校
②　月１回	９校
③　月２回以上	５校
中学校	
①　　０回	６校　※内 学期に１～２回 １校
②　月１回	２校
③　月２回以上	０校

学校図書館の本はデータベース化されていますか。	
小学校	
①　は　い	９校
②　いいえ	８校 ※内 新刊本データベース化 １校
中学校	
①　は　い	５校
②　いいえ	３校

児童生徒に読書を特に勧める企画を実施しましたか。	
小学校	
①　は　い	１７校
②　いいえ	０校
中学校	
①　は　い	８校
②　いいえ	０校

児童生徒の学習に市立図書館を利用しましたか。	
小学校	
①　は　い	１３校
②　いいえ	４校
中学校	
①　は　い	１校
②　いいえ	７校

資 料 ４　放課後児童クラブの読書活動についてのアンケート調査

９放課後児童クラブ

放課後児童クラブでの読み聞かせの企画回数
年７回　（市立図書館企画分。ほかに各児童クラブ自主企画で年１～４回実施。）

放課後児童クラブでの読書時間の確保			
①	平　　　日	３０分	５クラブ
		１時間００分	３クラブ
		２時間３０分	１クラブ
	平　　　均	５３分	
②	学校休業日	３０分	１クラブ
		１時間００分	４クラブ
		１時間３０分	２クラブ
		２時間００分	１クラブ
		４時間３０分	１クラブ
	平　　　均	１時間３３分	

資料　5

読書活動推進計画の取り組み

2001(平成13)年　子どもの読書活動の推進に関する法律　※子ども読書の日（4月23日）制定

2002(平成14)年　第一次　子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画

第一次　県民の読書活動推進計画

2005(平成17)年　文字･活字文化振興法

第一期　大館市読書活動推進計画　平成17年度～平成22年度

2008(平成20)年　第二次　子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画

第二次　県民の読書活動推進計画

2010(平成22)年　秋田県民の読書活動の推進に関する条例

2011(平成23)年　第一次　秋田県読書活動推進基本計画

2013(平成25)年　第三次　子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画

第二期　大館市読書活動推進計画　平成25年度～平成29年度

2016(平成28)年　第二次　秋田県読書活動推進基本計

2017(平成29)年